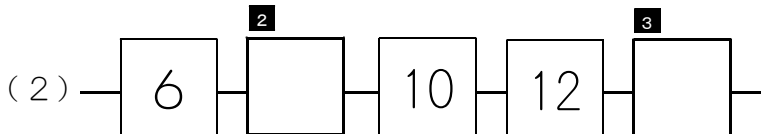
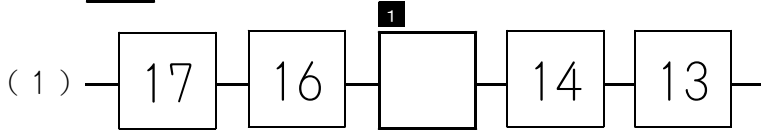


★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 □ に あてはまる かずを かきましょう。



2 とけいを よみましょう。



4 □

3 つぎの もんだいに こたえましょう。

(1) みかんが 3こ あります。  
りんごが 8こ あります。  
かずの ちがいは いくつですか。  
みぎの【ず】を つかって かんがえ、  
しきと こたえを かきましょう。

【ず】  
みかん ●●●  
りんご ○○○○○○○○

5 しき □

6 こたえ □

(2) ちゅうしゃじょうに くるまが 5だい あります。  
あとから 7だい きました。  
ぜんぶで なんだいに なりましたか。  
したの【ず】を つかって かんがえ、しきと こたえを かきましょう。

【ず】 ●●●●● ○○○○○○○○

7 しき □

8 こたえ □

※つぎのページにも、もんだいがあります。

4

つぎの ①から③の もんだいを よんで、しきが  $8 + 5 - 3$  になるものを 1つえらんで、ばんごうを かきましょう。

①

くるみが 8こ ありました。  
5こ あげました。  
あとから 3こ もらいました。  
くるみは なんこに なったでしょうか。

②

がようしが 8まい ありました。  
5まい つかいました。  
また、3まい つかいました。  
のこりは なんまいでしょうか。

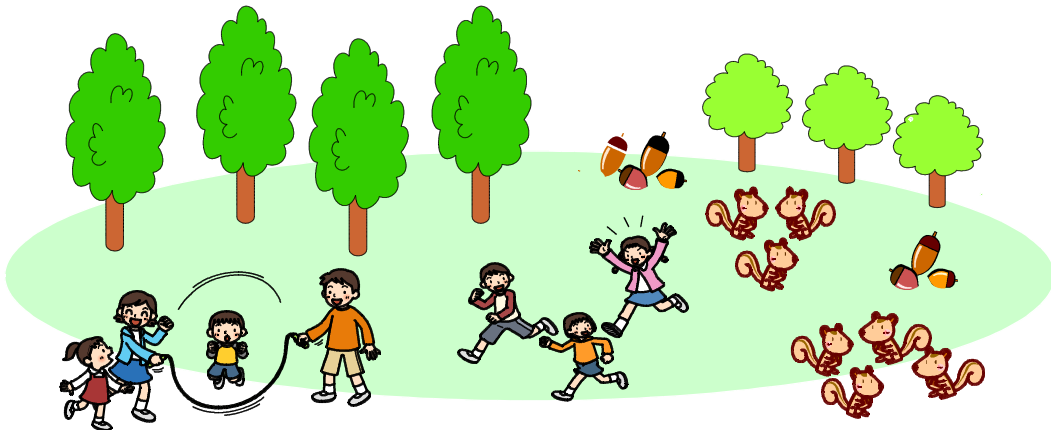
③

バスに こどもが 8にん のっています。  
あとから 5にん のりました。  
つぎに 3にん おりました。  
バスに こどもは なんにん のっていますか。

9

5

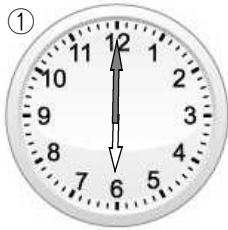
えを みて、 $4 + 3$ の しきに なる もんだいを つくりましょう。



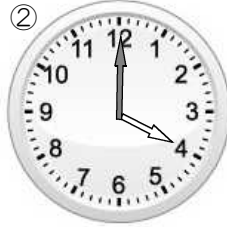
10

★先生方へ～解答欄の 1～11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1 つぎのもんだいに答えましょう。



朝、おきた時こく



夕方、家を出た時こく



公園についた時こく



(1) 上の①から③までの時計とことばを見て、時こくを午前、午後をつけて、それぞれ書きましょう。

1 ①

2 ②

3 ③

(2) 家を出てから、公園につくまでの時間は、何分間でしょうか。

4

2 みゆきさんは、 $125 - 67$  の計算をつぎのようにひっ算しました。かずきさんは、みゆきさんの計算のまちがいを下のようにせつめいしています。

みゆきさんのひっ算

$$\begin{array}{r} 125 \\ - 67 \\ \hline 68 \end{array}$$

十のくらは、一のくらゐに1くり下げたので、2ではなく、1にしなくてははいけません。  
正しい十のくらのけいさんは  $11 - 6 = 5$  になります。



かずきさんのせつめいのように、つぎのともやさんの計算のまちがいをせつめいし、正しい答えになおしましょう。

ともやさんのひっ算

$$\begin{array}{r} 136 \\ - 48 \\ \hline 98 \end{array}$$

5 せつめい：

正しい答え

3 つぎのひっ算で、□にあてはまる数字をかきましょう。

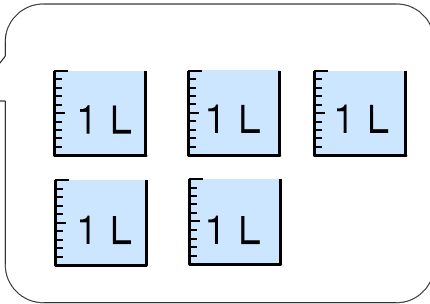
(1) 
$$\begin{array}{r} \square 9 \\ + 35 \\ \hline 74 \end{array}$$

(2) 
$$\begin{array}{r} \square 6 \\ - 48 \\ \hline 28 \end{array}$$

7

8

4 下のポットに入る水のかさを、ア、イのあらわし方で書きましょう。



9 ア  L

10 イ  mL

5 つぎの2つの3けたの数の大きさをくらべます。

5 □ 3      5 6 2

上の3けたの数5□3の十のくらいには、まだ数字が入っていません。  
5□3が562よりも大きい数になるとき、□には、どのような数があてはまりますか。

0から9までの中で、あてはまる数をすべて書きましょう。

11

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

つぎ もんだい  
次の問題に答えましょう。

(1) 数字で書きましょう。

① 三百十四万五千六百八十六

1

② 1000万を5こ、100万を8こ、1万を9こ合わせた数

2

(2) 92000はどんな数ですか。  にあてはまる数を書きましょう。

①

3

と2000を合わせた数

② 1000を

4

こ集めた数

2

つぎ ひっさん  
次の筆算で、  にあてはまる数を書きましょう。

$$\begin{array}{r} 58 \\ \times 9 \\ \hline \end{array}$$

72.....

5

× 9

450.....

6

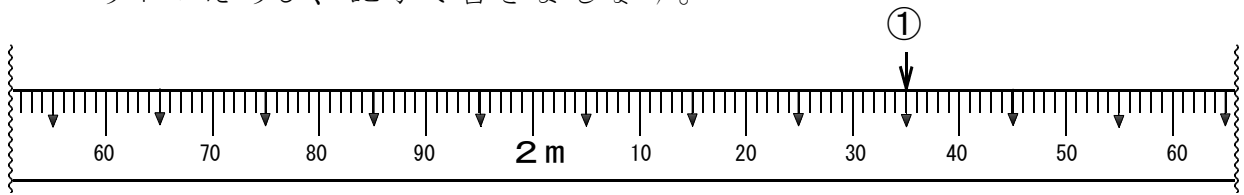
× 9

$$\begin{array}{r} 522 \\ \hline \end{array}$$

つぎ もんだい  
※ 次のページにも、問題があります。

**3** つぎ もんだい 次の問題に答えましょう。

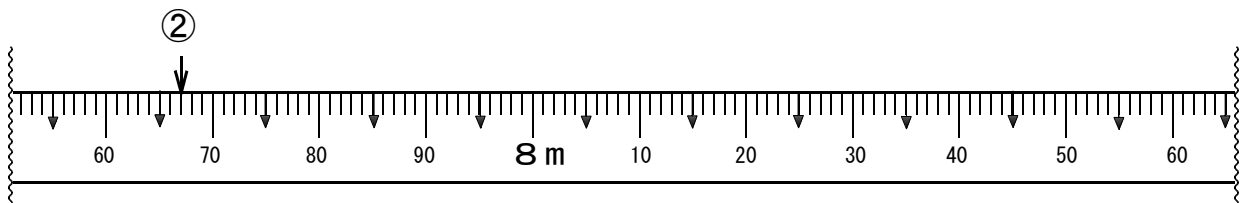
(1) ①のめもりが表す長さとして正しいものを、下のアからエまでのの中から1つえらび、記号で書きましょう。



- ア 2 m 4 5 c m
- イ 2 m 3 5 c m
- ウ 3 m 4 5 c m
- エ 3 m 3 5 c m

**7**

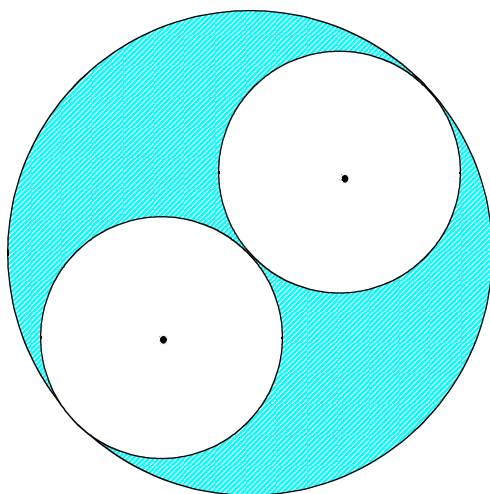
(2) ②のめもりが表す長さとして正しいものを、下のアからエまでのの中から1つえらび、記号で書きましょう。



- ア 7 m 6 7 c m
- イ 7 m 7 3 c m
- ウ 8 m 6 7 c m
- エ 8 m 7 3 c m

**8**

**4** 下の図のように、ちょっけい直径が20 cmの円の中に、同じ大きさの円がはんけいぴったり2つ入っています。小さい円の半径は何 cm でしょうか。



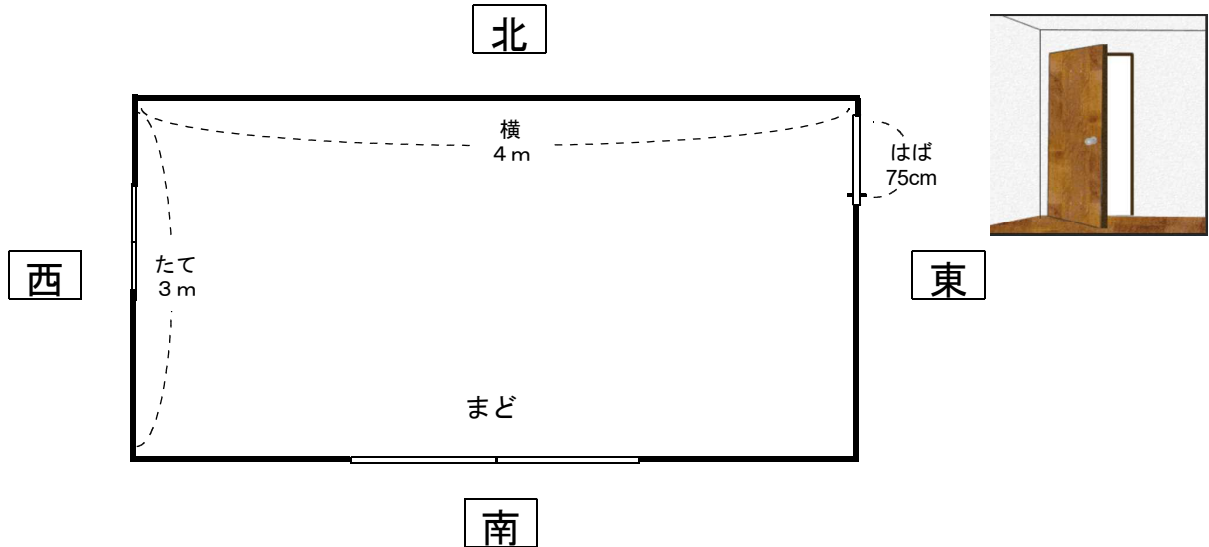
**9**  c m

つぎ もんだい ※ 次のページにも、問題があります。



5

下の図のような、たてが3 m、横が4 mの長方形の部屋があります。  
部屋の東がわには、ドアがあります。このドアは、はばが75 cmで、部屋の  
内がわに開きます。

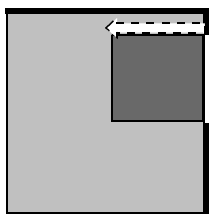
ひろ子さんは、この部屋の中にいろいろな物をおこうと考えています。



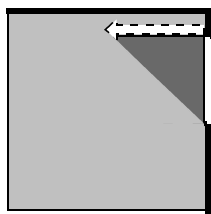
ドアを開け閉めするとき、おいた物にドアが当たってしまう場所と、  
当たらない場所を調べて図に表します。

ドアが当たってしまう場所を  で、当たらない場所を  で表  
すとき、それぞれの場所を正しく表している図を、下のアからエまでの  
の中から1つえらび、記号で書きましょう。

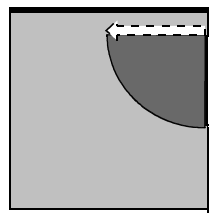
ア



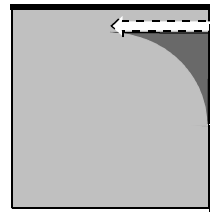
イ



ウ



エ

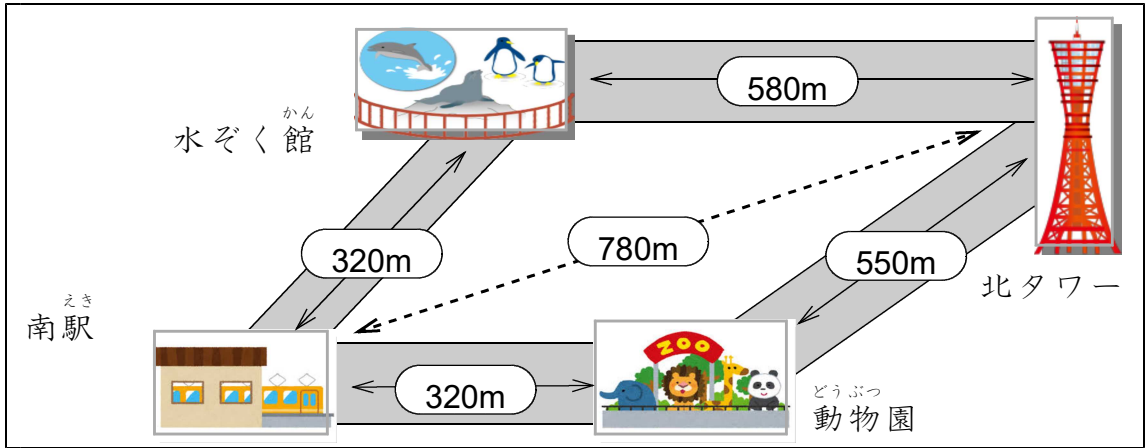


10

※ 次のページにも、問題があります。

6

下の地図を見て、問題に答えましょう。



(1) 南駅から水ぞく館を通して北タワーに行く道のりと、南駅から動物園を通して北タワーに行く道のりでは、どちらが短いでしょうか。どちらが短いかを答えましょう。

11 南駅から  を通って北タワーに行く道のりのほうが短い。

また、そのように考えた【わけ】をとして正しいものを、下のアからエまでの中からすべてえらび、記号で書きましょう。

【わけ】

ア 南駅から水ぞく館を通して北タワーに行く道のりと、南駅から動物園を通して北タワーに行く道のりをくらべると、南駅から水ぞく館を通して北タワーに行く道のりのほうが短いから。

イ 南駅から水ぞく館を通して北タワーに行く道のりと、南駅から動物園を通して北タワーに行く道のりをくらべると、南駅から動物園を通して北タワーに行く道のりのほうが短いから。

ウ 南駅から水ぞく館までと、南駅から動物園までの道のりは同じだから、水ぞく館から北タワーまでの道のりと、動物園から北タワーまでの道のりをくらべると、動物園から北タワーまでの道のりのほうが短いから。

エ 南駅から水ぞく館までと、南駅から動物園までの道のりは同じだから、水ぞく館から北タワーまでの道のりと、動物園から北タワーまでの道のりをくらべると、水ぞく館から北タワーまでの道のりのほうが短いから。

12

(2) そういちろうさんは、北タワーから水ぞく館に行くのに、歩いて10分かかります。午後3時に水ぞく館につくためには、午後2時何分に北タワーを出ればよいですか。

午後2時  分



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

次の問題に答えましょう。

(1) たけるさんは、 $70 + 30 \times 8$  の計算を右のようにしました。

計算のまちがいをみつけて、まちがえたわけを次のアからエまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。  
また、正しい答えを求めましょう。

たけるさんの計算  
 $70 + 30 \times 8 = 800$

- ア  $30 \times 8$  を先に計算しているから
- イ  $70 + 30$  を先に計算しているから
- ウ  $70 \times 8$  を先に計算しているから
- エ  $70$  と  $30$  をかけているから

1

正しい答え

2

(2) たけるさんは、「 $70$  円のチョコレート1こと  $30$  円のガム1こを1組にしたものを8组分買ったときの代金」を計算のじゅんじょを考えて計算しようと考えました。

あてはまる式を次のアからウまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

- ア  $70 + 30 \times 8$
- イ  $(70 + 30) \times 8$
- ウ  $70 \times 8 + 30$

3

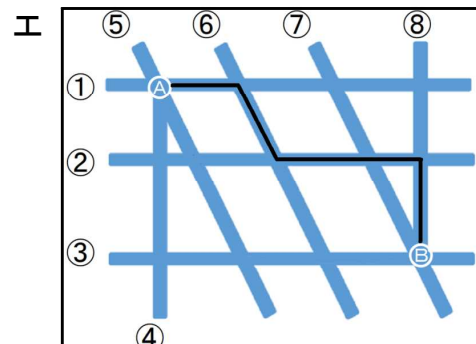
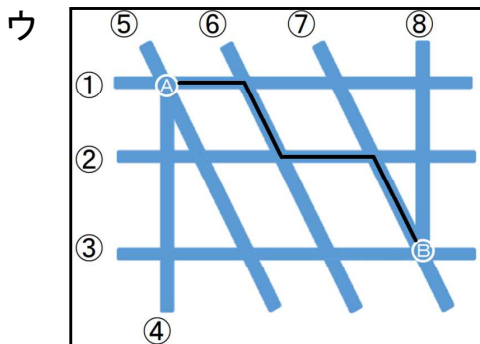
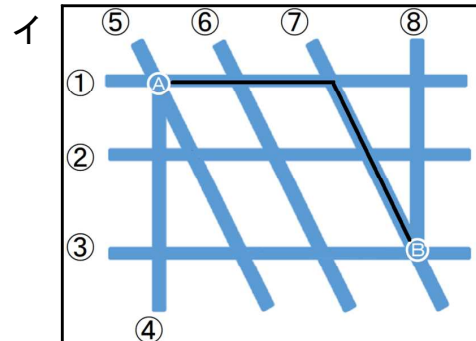
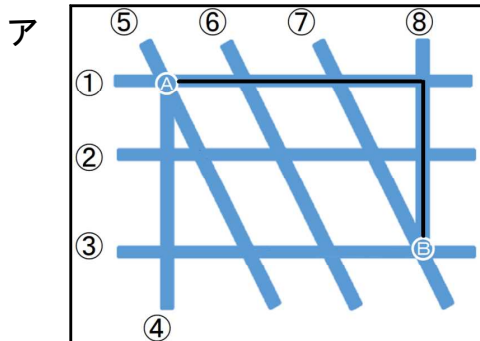
2

ひろしさんは、買い物に行きました。交差点Aから交差点Bまで行くのに下の地図の中にある **——** の道を通りました。

**【道路の交わり方やならび方】**

- 道路①、②、③は平行です。
- 道路⑤、⑥、⑦は平行です。
- 道路①、②、③は、それぞれ道路④に垂直です。
- 道路①、②、③は、それぞれ道路⑧に垂直です。

- (1) ひろしさんは、買い物を終えたので、交差点 ㉑ から交差点 ㉐ まで、来たときに通った道を通らずに、同じ道のりで帰ろうと思います。帰るときに通る道を **——** で表したとき、来たときと同じ道のりで帰ることができるのは、どの道を通るときですか。次のアからエまでの中から全てえらび、記号を書きましょう。



4

- (2) ひろしさんは、地図と【道路の交わり方やならび方】を見たとき、道路①、道路③、道路⑤、道路⑦でかこまれる形が、ある四角形であることがわかりました。その四角形の名前を、次のアからエまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

- ア 正方形
- イ 長方形
- ウ 平行四辺形
- エ ひし形

5

- (3) また、(2) の四角形の特ちょうの説明として正しいものを、次のアからエまでの中から全てえらび、記号を書きましょう。

- ア 向かい合う辺の長さが等しい
- イ 向かい合う角の大きさが等しい
- ウ すべての辺の長さが等しい
- エ すべての角の大きさが等しい

6

※次のページにも、問題があります。

3

児童会活動で、ペットボトルのキャップを集めています。4月から7月までの間に集める目標は、10000こでした。7月までの4か月間に集めたこ数は、下の表のとおりです。

### 7月までの4か月間に集めたこ数

| 月     | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   |
|-------|------|------|------|------|
| こ数(こ) | 1891 | 1982 | 2903 | 2473 |

次の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。



まなぶ

集めたこ数の合計は、目標に達していますか。



はるか

目標に達しているかどうかなら、およその数にして計算すれば、わかります。

およその数にする方法は、次の3通りがあります。

- ・四捨五入する
- ・切り捨てる
- ・切り上げる



ゆうと

切り捨てて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数 1891 1982 2903 2473

↓ ↓ ↓ ↓

およその数の計算  $1000+1000+2000+2000=6000$

実さいの数より小さい数にして和が6000だから、集めたこ数の合計が6000こ以上であることはわかります。

(1) 四捨五入して計算します。次の①に入る式を下のアからエまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。また、②に入る数を求めましょう。

四捨五入して、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

実さいの数 1891 1982 2903 2473

↓ ↓ ↓ ↓

およその数の計算  $\boxed{\text{①}} = \boxed{\text{②}}$

実さいの数に近い数にして和が  $\boxed{\text{②}}$  だから、集めたこ数の合計が約  $\boxed{\text{②}}$  こだることはわかります。

ア  $1900+2000+2900+2500$

イ  $1800+1900+2900+2400$

ウ  $2000+2000+3000+2000$

エ  $2000+2000+3000+3000$

7

①

8

②

※次のページにも、問題があります。

(2) 切り上げて計算します。次の③に入るふさわしい文を下のアからエまでの中から1つえらび、記号を書きましょう。

切り上げて、千の位までのおよその数にして計算すると、次のようになります。

|          |                                   |      |      |      |
|----------|-----------------------------------|------|------|------|
| 実さいの数    | 1891                              | 1982 | 2903 | 2473 |
|          | ↓                                 | ↓    | ↓    | ↓    |
| およその数の計算 | 2000 + 2000 + 3000 + 3000 = 10000 |      |      |      |
|          | ③                                 |      |      |      |

ことがわかります。

- ア 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、目標に達している
- イ 実さいの数より小さい数にして和が10000だから、目標に達していない
- ウ 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、目標に達している
- エ 実さいの数より大きい数にして和が10000だから、目標に達していない

③

(3) 9月から12月までの間に集める目標も、10000こです。11月までの3か月間に集めたこ数は、下の表のとおりです。

11月までの3か月間に集めたこ数

| 月     | 9月   | 10月  | 11月  |
|-------|------|------|------|
| こ数(こ) | 3009 | 2514 | 2120 |

はるかさんは、目標に達するには、12月におよそ何このキャップを集めればよいかを、次のように考えました。

**はるかさんの考え**

3か月間に集めたこ数の合計を、次のようにして計算します。

|          |                           |      |      |
|----------|---------------------------|------|------|
| 実さいの数    | 3009                      | 2514 | 2120 |
|          | ↓                         | ↓    | ↓    |
| およその数の計算 | 3000 + 2000 + 2000 = 7000 |      |      |

目標の10000こに達するには、12月に3000こ集めればよいはずですが。

はるかさんの「およその数の計算」で、12月に3000こ集めればよいことがわかります。実さいの数で計算しなくても、12月に3000こ集めればよいことがわかるのはなぜですか。

そのわけを、次のアからエまでの中から1つえらんで、記号を書きましょう。

- ア 実さいの数を四捨五入して和が7000だから、集めたこ数の合計は約7000こであり、12月は3000こでよいから。
- イ 実さいの数に近いおよその数の和が7000だから、集めたこ数の合計は約7000こであり、12月は3000こでよいから。
- ウ 実さいの数より大きい数にして和が7000だから、集めたこ数の合計は7000こ以上あり、12月は3000こ以下でよいから。
- エ 実さいの数より小さい数にして和が7000だから、集めたこ数の合計は7000こ以上あり、12月は3000こ以下でよいから。

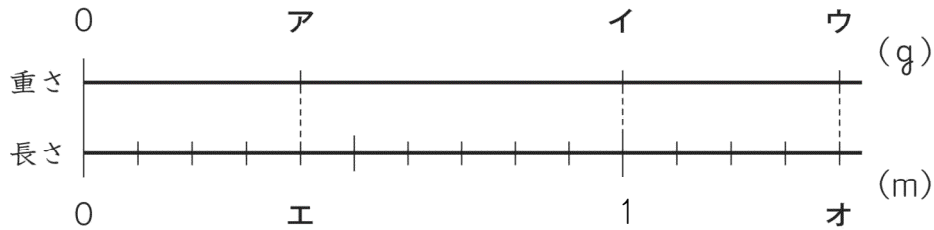
10

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 9 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

長さが0.4 mで重さが60 gの針金<sup>はりかね</sup>があります。

たけるさんは、針金1 mの重さが何gになるかを考えるときに、針金の長さ<sup>ながさ</sup>と重さ<sup>かさ</sup>の関係を下の図のように表して考えようと思いました。



(1) 1 mの重さを□gとして、上の図に表します。針金0.4 mの「0.4」、0.4 mの重さ60 gの「60」、1 mの重さ□gの「□」のそれぞれの場所は、上の図のどこになりますか。

アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

1 60の場所

2 0.4の場所

3 □の場所

(2) 1 m分の重さは $60 \div 0.4$ の式で求めることができます。

たけるさんは、次のように考え、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

【たけるさんの考え】

$$60 \div 0.4 = \text{□}$$

↓10をかける   ↓10をかける   ↓変わらない

$$600 \div 4 = 150$$

だから、 $60 \div 0.4$ の答えの□は、150です。

【たけるさんの考え】にある「 $600 \div 4$ 」は、何m分の重さを求めている式といえますか。下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

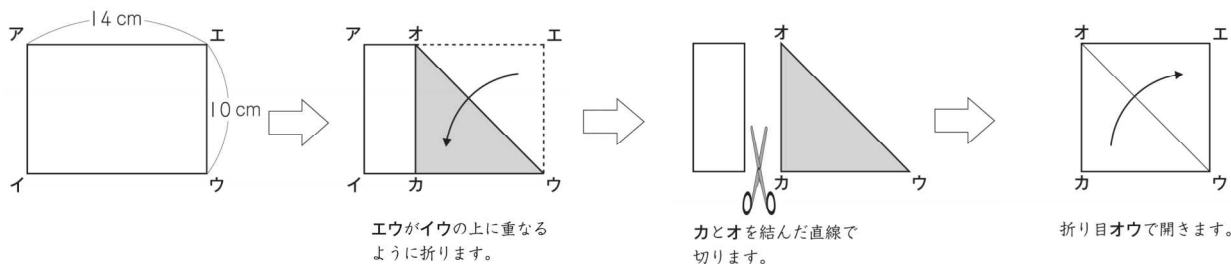
- ① 0.4 m分の重さ
- ② 1 m分の重さ
- ③ 4 m分の重さ
- ④ 10 m分の重さ

4

※次のページにも、問題があります。

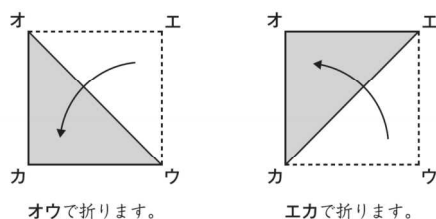
2

たてが10cm、横が14cmの長方形の紙を使って、下の図のような作り方で、正方形を作りました。



(1) よし子さんは、この作り方で、長方形の紙から本当に正方形を作ることができたかどうかを考えました。

そこで、下の図のように2とおりの折り方でぴったり重なれば、四角形**オカウエ**が正方形であることを確かめられると思いました。



実際に折ってみると、どちらもぴったり重なりました。

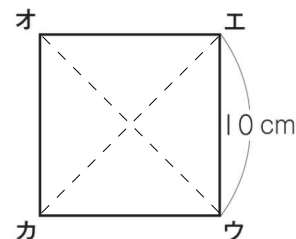
よし子さんが、上の2とおりの折り方で確かめたことは何でしょうか。下の①から④までの中から最もふさわしいものを1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① 対角線が垂直に交わること
- ② 4つの辺の長さが等しいこと
- ③ 対角線がそれぞれの真ん中で交わること
- ④ 4つの角が直角で、4つの辺の長さが等しいこと

5

(2) よし子さんは、できあがった四角形**オカウエ**を見て、合同な三角形があることに気付きました。

三角形**オカエ**と合同な三角形は、三角形**オカエ**以外に、いくつあるでしょうか。下の①から③までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ

6

※次のページにも、問題があります。

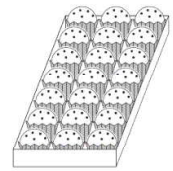
3

カップケーキが右のように売られています。1箱14個入りで1050円のAセットと、1箱21個入りで1470円のBセットがあります。

あいりさんたちは、AセットとBセットのカップケーキを同じ個数にそろえたとき、どちらのほうの方が安くなるのかについて考えています。



Aセット (14個入り)  
1050円



Bセット (21個入り)  
1470円

- (1) まず、あいりさんは、AセットとBセットをそれぞれ何箱か買ったとして、考えることにしました。



カップケーキの個数を14と21の最小公倍数にそろえて考えます。

14と21の最小公倍数を書きましょう。

7

- (2) 次に、くるみさんは、カップケーキの個数を7個にそろえて考えることにしました。

【くるみさんの考え】

Aセットのカップケーキ7個分の値段  $1050 \div 2 = 525$  525円  
 Bセットのカップケーキ7個分の値段  $1470 \div 3 = 490$  490円  
 カップケーキ7個分の値段は、Bセットの方が安くなります。



Aセットのカップケーキ7個分の値段を、 $1050 \div 2$ で求められることができるのは、どうしてですか。

Aセットのカップケーキ7個分の値段を、【くるみさんの考え】の中の「 $1050 \div 2$ 」で求めることができるわけの説明としてふさわしいものを、アからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 1列のカップケーキが7個ずつ2列あるからです。

イ 2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができるからです。

ウ 1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を2等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができるからです。

エ 1列のカップケーキが7個ずつ2列あります。2列の値段が1050円なので、1050を7等分すれば1列に並んでいるカップケーキ7個分の値段を求めることができるからです。

8

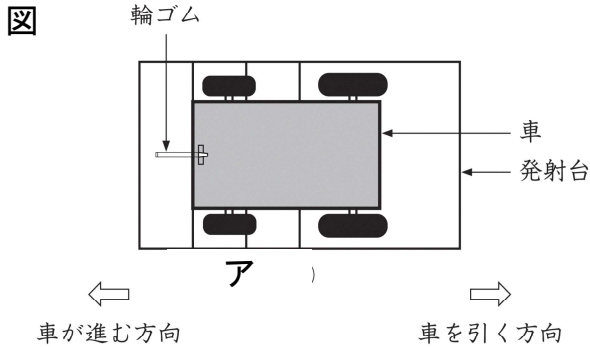
※次のページにも、問題があります。

4

かずやさんたちは、ゴムの力で動く車を作りました。

図のように車と発射台を輪ゴムでつなぎ、車を引いて輪ゴムをのばしてから放すと、車が進みます。車の先頭が、図の**ア**の位置に来るまで輪ゴムをのばし、どれだけ車が進むのか、車が進んだきりを5回調べ、表のようにまとめました。

表をもとに、きりの平均を考えます。



| 回数 | 車が進んだきり     |
|----|-------------|
| 1  | 7 m 5 2 c m |
| 2  | 7 m 3 1 c m |
| 3  | 7 m 5 4 c m |
| 4  | 7 m 2 0 c m |
| 5  | 7 m 4 3 c m |

表 **ア**の位置に来るまで輪ゴムをのばした場合の記録

かずやさんは、平均を求める計算を簡単にするために、7 m をこえた部分に着目し、次のように平均を求めました。

【かずやさんの平均の求め方】

7 m をこえた部分の平均を求めます。

$$(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$$

7 m に、求めた平均の40 c m をたします。

車が進んだきりの平均は、7 m 40 c m です。

はるなさんは、【かずやさんの平均の求め方】を聞いて、7 m 20 c m をこえた部分に着目しても、平均を求めることができると考えました。

【はるなさんの平均の求め方】

7 m 20 c m をこえた部分の平均を求めます。

車が進んだきりの平均は、7 m 40 c m です。

【はるなさんの平均の求め方】の中の空らんには当てはまる式と言葉としてふさわしいものを、**ア**から**エ**までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

**ア**  $(52 + 31 + 54 + 20 + 43) \div 5 = 40$   
7 m に、求めた平均の40 c m をたします。

**イ**  $(752 + 731 + 754 + 720 + 743) \div 5 = 740$   
740 c m は、7 m 40 m です。

**ウ**  $(32 + 11 + 34 + 23) \div 4 = 25$   
7 m 20 c m に、求めた平均の25 c m をたします。

**エ**  $(32 + 11 + 34 + 23) \div 5 = 20$   
7 m 20 c m に、求めた平均の20 c m をたします。



★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

$\frac{2}{3}$  L のペンキがあります。このペンキの重さを量ると  $\frac{3}{4}$  kg ありました。さとしさんは、このペンキ 1 L の重さを次のように求めました。

【さとしさんの求め方】

$$\begin{aligned} \frac{2}{4} \div \frac{2}{3} &= \frac{1}{4} \div \frac{2}{1} \\ &= \frac{1}{4} \times \frac{1}{2} \\ &= \frac{1}{8} \end{aligned}$$

(1) 【さとしさんの求め方】には、まちがいがあります。まちがいの説明として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア わられる数とわる数が逆になっている。
- イ わられる数を逆数にしていない。
- ウ 通分をしていない。
- エ わり算のまま約分をしている。

1

(2) ペンキ 1 L の重さを次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア  $\frac{8}{9}$     イ  $\frac{9}{8}$     ウ 8    エ  $\frac{1}{8}$

2

2

けいすけさんは、牛乳と紅茶を 3 : 5 の割合で混ぜてミルクティーを作ります。次の問いに答えましょう。

(1) 紅茶を 480 mL にするとき、牛乳は何 mL 入れればよいか書きましょう。

3

 mL

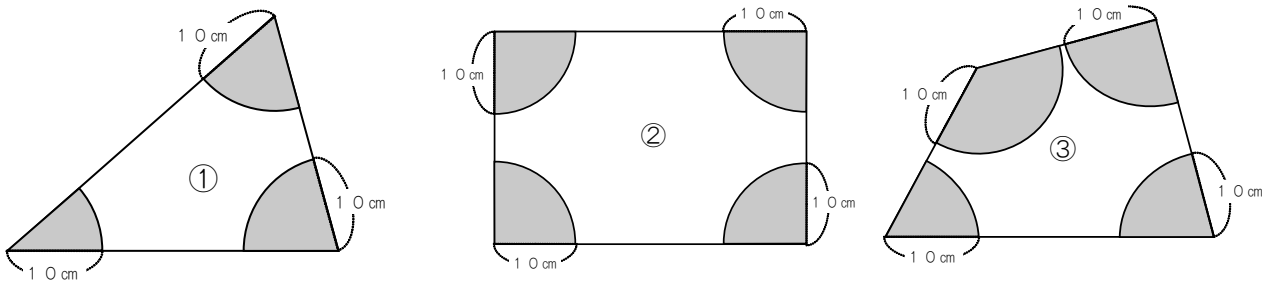
(2) 牛乳と紅茶を混ぜてミルクティーを 400 mL 作ろうと思いますが、牛乳が 120 mL しかありません。牛乳と紅茶を 3 : 5 の割合で混ぜたミルクティーを 400 mL 作るために必要となる牛乳の量を求める計算として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア  $400 \times \frac{3}{5}$                       イ  $400 \times \frac{3}{8}$
- ウ  $120 \times \frac{5}{3}$                       エ  $120 \times \frac{8}{3}$

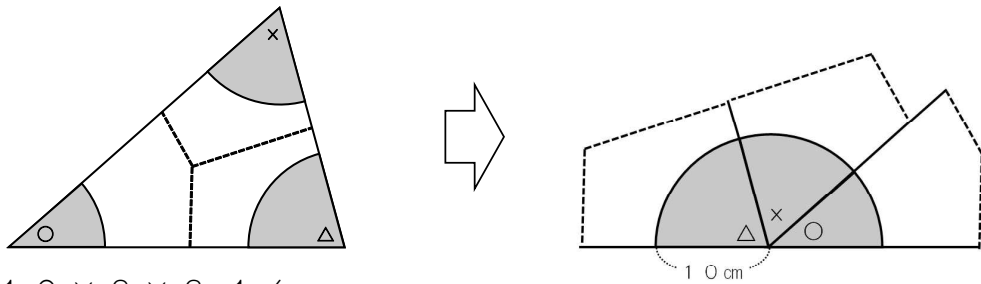
4

3

下の図のように、図形①②③の頂点を中心に半径10cmの円の一部をかいて、黒くぬります。次の問いに答えましょう。



(1) 下の図のように図形①を3つの部分に切って頂点であわせると、黒くぬった部分は、円の半分の図形になりました。この図形の面積を求める式として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。



- ア  $10 \times 2 \times 3.14$
- イ  $10 \times 10 \times 3.14$
- ウ  $10 \times 2 \times 3.14 \div 2$
- エ  $10 \times 10 \times 3.14 \div 2$

5

(2) (1) のように、図形②を4つの部分に切って頂点であわせると、黒くぬった部分は、図形①の黒い部分を合わせた面積の何倍になりますか。答えを書きましょう。

6  倍

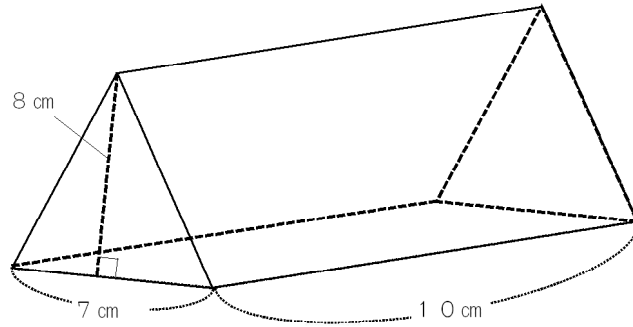
(3) 図形②の黒い部分を合わせた面積と、図形③の黒い部分を合わせた面積との関係の説明として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア 図形③に図形②の角よりも大きい角があるため、図形③の黒い部分を合わせた面積の方が大きい。
- イ 図形③に図形②の角よりも小さい角があるため、図形③の黒い部分を合わせた面積の方が小さい。
- ウ 図形②と図形③は、両方とも4つの角の和が $360^\circ$ で、4つの黒い部分を合わせると合同な円ができるため、面積は等しい。
- エ 図形③は角の大きさが決まっていないため、図形②と図形③のどちらの黒い部分を合わせた面積が大きくなるかは決まらない。

7

4

下の立体の体積について考えます。次の問いに答えましょう。



(1) さつきさん、ゆうたさん、みさきさん、めいさんの4人で、この立体の体積の求め方を話し合っています。

**さつきさん** 「この立体は角柱で、底面が長方形なので、底面積は  $7 \times 10$  で求め、それに高さの  $8$  をかけると体積を求めることができます。」

**ゆうたさん** 「この立体は角柱で、底面が三角形なので、底面積は  $7 \times 8 \div 2$  で求め、それに高さの  $10$  をかけると体積を求めることができます。」

**みさきさん** 「さつきさんとゆうたさんのどちらの求め方でも体積を求めることができます。」

**めいさん** 「この立体は角柱ではないので、さつきさん、ゆうたさん、みさきさんの説明以外の求め方で体積を求めます。」

この立体の体積の求め方の説明として正しい説明を、次のアからエまでのの中から1つ選びましょう。

- ア さつきさんの説明
- イ ゆうたさんの説明
- ウ みさきさんの説明
- エ めいさんの説明

8

(2) この立体の体積を書きましょう。

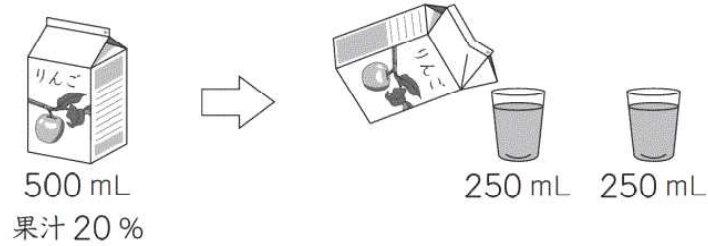
9

$\text{cm}^3$

※次のページにも、問題があります。

5

リンゴの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。  
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250 mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

ア

上のアに当てはまる文を、下の①から③までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ① 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- ② 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- ③ 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

10